

【外国語・小5・「Unit6 What would you like?」】①

育成を目指す資質・能力

本時のねらい：個別の発音練習やペアで注文のやりとりをする活動を通して、「What would you like?」や「I'd like ～.」の表現を身に付けることができるようにする。

ICT活用のポイント

- ①ヘッドセットを用いて、ALTが発音した動画や教科書のリンクなど複数の練習方法から個の理解度に応じた発音練習を行うことで、自分のペースで新しい表現を身に付けることができる。
- ②ALTの発音動画や教科書のリンク、振り返りカードなどをカードに貼り付けたものを学習支援ソフトを用いて配布しておくことで、一つの授業の中で、様々なコンテンツを容易に活用することができる。

【つかむ】

Small Talkを聞き、新出言語材料を把握する。

【追究する】

新出言語材料の発音練習をする。
・ヘッドセットを用いた個人の活動から、ペアで役割分担して会話する。

【まとめる】

本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。

事例の概要

- プレゼンテーションソフトで提示されたイラストを見ながらSmall Talkを聞き、新出言語材料に気付く。

【事例におけるICT活用場面①】

- ALTが発音している動画、デジタル教科書、英文のみの3種類から自分の力に合った練習方法を選び、ヘッドセットを用いて練習に取り組む。
- 新出言語材料が定着してきたら、ペアになって会話練習を行う。発音がわからなければ、ALTの動画を見返し、確認する。

【事例におけるICT活用場面②】

- 学習支援ソフトで送られている振り返りカードを記入する。
- 翻訳サイトで音声入力機能、翻訳機能を使い、正しく発音できているかななどの自己課題を見つけ、もう一度練習に戻る。

【外国語・小5・「Unit6 What would you like?」②】

【事例におけるICT活用の場面①】

欲しいものを丁寧に尋ねるとき（注文のとき）

What would you like?
I'd like okonomiyaki.
Ok. Okonomiyaki.




ALTが発音している動画、音声のみ、英文のみと、児童一人一人が自分の力に合わせて練習方法を選択する。ヘッドセットを利用して自分のペースで練習することによって、多くの児童が新出言語材料を身に付けることができた。

身に付けた新出言語材料を用いてペアで会話練習を行い、途中でALTの動画を見返して、発音を確かめる姿も見られた。

【事例におけるICT活用の場面②】

1時間の授業の中で、様々なコンテンツを使う場合、作業に時間がかかっていた。そこで、本単元で使用するALTの発音動画や教科書のリンク、振り返りカードや翻訳サイトのリンクを貼ったカードを学習支援ソフトを利用し、単元の初めに配布した。

単元で使用するコンテンツが一連のカードでつながっているため、前時までの内容や振り返りの確認や、翻訳サイトの利用が容易に行えるようになった。

単元目標：海外からのお客さんの注文を受けよう！		
目的 注文を取り お会計をするため	場面 アルバイト先に外国人 のお客さんが来た	状況 sushi・go・round
自己目標 ：前達成できなかったことのジェスチャーやアイコンタクトを達成できるように頑張って色々な新しい言葉を覚えたい。		
振り返り ：ちゃんと発表することができた。ジェスチャーを使ったクリアボイスを使う事ができた。見ながらじゃなくてもはひょうすることができた。		
知・技	学習した語句や表現を正しく使って、注文を取れたか。	☆☆
思・判・表	目的・場面・状況に合わせて、会話できたか。	☆☆☆☆
主体的	相手の様子に合わせて、工夫をして伝え合おうとしたか。	☆☆☆☆

①	目標	単元の見通しを立て、必要な表現に親しもう！
	表現	food・drinks・dessert・yen・What would you like
	内容	新しいユニット6に入って新しい言葉を聞いた。発音よく英語を言いたい。
②	目標	どうすれば、欲しいものを丁寧に尋ねられるかな。
	表現	What would you like? I'd like ~.
	内容	発音よく英語が言えた。もっと大きな声で発表したい。



活用したソフトや機能・・・学習支援ソフト（課題の提出、意見の共有）、動画再生機能、音声入力機能